

資料1

千葉県県民活動推進計画 平成29年度実施事業の進行管理について

施策の方向性	行動計画	No	事業名	再掲	担当所属	
1 県民活動への理解や参加の促進	(1) 県民活動の普及啓発の推進	1	千葉県ホームページでの情報発信		県民生活・文化課	
		2	NPO・ボランティア情報マガジンの配信		県民生活・文化課	
		3	県民活動情報オフィスの運営		県民生活・文化課	
		4	県民向け市民活動・ボランティア普及啓発		県民生活・文化課	
		5	県民活動PR月間の実施		県民生活・文化課	
		6	出前説明会等の実施		県民生活・文化課	
		7	法人化説明会の実施		県民生活・文化課	
		8	若い世代の参加促進を図る広報啓発と防犯ボランティア事業		警察本部生活安全総務課	
		9	自主防犯ボランティア団体の普及及び協働・支援事業		警察本部生活安全総務課	
	(2) 県民活動を体験する機会の提供	10	ボランティア活動への参加促進		県民生活・文化課	
		11	ボランティアセンター・市民活動支援センター等研修会及び交流会の開催		県民生活・文化課	
		12	地域と連携した福祉教育の推進		健康福祉指導課	
		13	ボランティア活動の振興(ボランティア振興事業)		健康福祉指導課	
		14	高校生のためのボランティア体験講座		教育庁さわやかちば県民プラザ	
		15	ボランティア入門講座		教育庁さわやかちば県民プラザ	
		16	ボランティア実践講座		教育庁さわやかちば県民プラザ	
		17	ボランティアスキルアップ講座		教育庁さわやかちば県民プラザ	
2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進	(1) 地域コミュニティにおける様々な主体の連携・協働の推進	18	協働によるコミュニティづくりの普及・促進		県民生活・文化課	
		19	ちばコラボ大賞		県民生活・文化課	
		20	千葉県男女共同参画センターフェスティバル&ネットワーク会議		男女共同参画センター	
		21	地域福祉フォーラムの設置・活動の促進		健康福祉指導課	
		22	防犯ボックスを核とした地域防犯カ・コミュニティカ向上事業		くらし安全推進課	
		23	環境講座開催事業		環境研究センター	
		24	ちば中小企業元気づくり基金事業地域プロデュース支援事業		経済政策課	
		25	法人の森事業(法人の森協定)		森林課	
		26	里山活動の支援		森林課	
		27	若い世代の参加促進を図る広報啓発と防犯ボランティア事業	(再掲)	警察本部生活安全総務課	
		28	自主防犯ボランティア団体の普及及び協働・支援事業	(再掲)	警察本部生活安全総務課	
		29	千葉県警察学生サポーター「ChiPSS」活動		警察本部少年課(少年センター)	
		30	少年補導員・少年指導員活動		警察本部少年課(少年センター)	
		(2) 地域コミュニティの活性化を支える連携を担う人材づくり	31	災害時外国人サポーター養成講座		国際課
			32	通訳ボランティア養成事業		国際課
	33		災害対策コーディネーターの養成		防災政策課	
	34		災害対策コーディネータースキルアップ講座		防災政策課	
	35		コミュニティソーシャルワーカー(CSW)育成事業		健康福祉指導課	
	36		千葉県生涯大学校における地域を担う人材の育成		高齢者福祉課	
	37		食生活改善推進員研修事業		健康づくり支援課	
	38		がん検診推進員育成講習会事業		健康づくり支援課	
	39		精神保健福祉ボランティア育成事業		障害福祉課	
	40		外国語観光ボランティアガイド養成講座開催事業		観光企画課	
	41		ちば食育ボランティアの活動支援		安全農業推進課	
	42		地域とともに歩む学校づくり推進支援事業		教育庁生涯学習課	
	43		放課後子供教室推進事業		教育庁生涯学習課	
	44		「読み聞かせボランティア入門講座」の開催		教育庁中央図書館	
	(3) 市民活動団体等と県行政・市町村行政の協働の推進		45	市町村と市民活動団体との連携促進事業		県民生活・文化課
		46	学校と市民活動団体との連携促進事業		県民生活・文化課	
		49	パートナーシップ推進委員会議の開催		県民生活・文化課	
3 等々市等の市民活動支援強化団体	(1) 市民活動団体等の組織運営力等の向上支援	50	市民活動マネジメント事業		県民生活・文化課	
		51	ボランティアセンター・市民活動支援センター等研修会及び交流会の開催	(再掲)	県民生活・文化課	
		52	市民活動支援組織ネットワークによる中間支援組織の機能向上と連携強化		県民生活・文化課	
(2) 中間支援組織の機能強化支援	53	民が民を支える仕組みの普及・支援		県民生活・文化課		

<各事業の概要及び進捗状況>

1 県民活動への理解や参加の促進

活動に関する情報の不足が参加を妨げている要因となっている現状等を踏まえながら、様々な形で広報・普及啓発を行うだけでなく、より多くの県民が参加機会を得られるよう、活動体験の場と機会の提供、適切な情報発信に努めます。

(1) 県民活動の普及啓発の推進

No.	事業名	事業概要	実施目標
1	千葉県ホームページでの情報発信 〔県民生活・文化課〕	県ホームページの特設サイト「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」において、NPO法人情報及び県のNPO・ボランティア関連施策情報、民間団体からの助成情報等を掲載する。 また、ボランティア関連情報のページに、各種ボランティアの募集情報や東京オリンピック・パラリンピック関連情報、災害ボランティア関連情報等を掲載する。	千葉県NPO・ボランティア情報ネット」関連ページビュー数 900,000件
2	NPO・ボランティア情報マガジンの配信 〔県民生活・文化課〕	NPO・ボランティア活動関連の各種事業やイベントなどの情報を随時配信する。また、ボランティア活動の参加を促す効果的な情報発信の方法について検討する。	年24回 (月2回) 配信
3	県民活動情報オフィスの運営 〔県民生活・文化課〕	県庁本庁舎2階の「県民活動情報オフィス」において、NPO法人の縦覧及び閲覧、NPO法人の設立時の各種相談、NPO・ボランティア関連情報の提供、ミーティングルーム等の貸出等のサービスを提供する。	オフィス利用者数 1,500名
4	県民向け市民活動・ボランティア普及啓発 〔県民生活・文化課〕	市民活動の基礎知識等を掲載したリーフレットや、各種普及啓発用グッズを様々な機会を捉えて配布し、県民活動の普及啓発をおこなう。	各種行事への出展 3回

【成果指標】

目標項目	現 状 (26年度)	上段：目標（27・28年度中間目標） 下段：結果（カッコ内は前年度比）		
		27年度	28年度	29年度
市民活動団体、ボランティア活動に関心がある人の割合	53.6%※1	59.0%	64.5%	70.0%
		43.6% (-10.0p)	44.5% (+0.9p)	
ボランティア活動に参加した ことのある人の割合	18.3%※2	20.5%	22.7%	25.0%
		37.2% (+18.9p)	35.6% (-1.6p)	

※1 参考指標として、「市民活動団体の活動を知っている人の割合」を掲載（第48回県政に関する世論調査結果より）

※2 第48回県政に関する世論調査結果より

進捗状況	現時点での評価
<p>【アクセス件数】（平成29年8月末時点） ○県ホームページ（「千葉県NPO・ボランティア情報ネット」関連ページ）ページビュー数：337,888件</p> <p>【情報発信件数】（平成29年10月末時点） ○民間団体等からの助成情報 件 ○千葉県が募集しているボランティア情報 23件</p>	<p>目標の関連ページビュー数については、順調に推移しており、目標の達成が見込まれます。秋田県、九州北部で豪雨災害が発生した際は、各地域の社会福祉協議会が運営する災害ボランティアに関するサイトへのリンクを掲載するなど、被災地支援を希望する県民の方々に適切な情報が届くよう努めました。今後も各種ボランティアに関する情報や民間団体等の助成情報等を随時更新していきます。</p>
<p>配信回数：13回（平成29年10月時点） 内容：研修会、イベント情報、助成金情報等。 会員数：2,390名</p>	<p>メールマガジンは月2回のペースで配信しており、目標の達成が見込まれます。今後も引き続き、効果的な情報発信の方法について検討していきます。</p>
<p>オフィス利用状況(平成29年9月末現在) ○NPO法人等の各種相談：339件 ○情報検索等窓口対応：192名 ○電話問合せ等対応：148名 ○ミーティングスペース利用：73名 計 752名</p>	<p>県民活動情報オフィス利用者数は昨年度と比較して、増加しています。（参考：前年度の同月時点での利用者は657名） 今後も利用促進に向けて、県ホームページや各種研修会等で広報を行っていきます。</p>
<p>県及び他団体の開催する行事に出展し、クイズ等を実施 県民の日中央行事 6/11 参加者920名 エコメッセ 10/9 参加者630名 印旛沼流域環境・体験フェア 10/28</p>	<p>県民の日中央行事、エコメッセの2行事に出展しました。加えて、10月28日に行われる印旛沼流域体験・活動フェアにも参加する予定であり、目標達成が見込まれます。</p>

1 県民活動への理解や参加の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
5	県民活動PR月間の実施 〔県民生活・文化課〕	NPO法施行日である12月1日前後の1カ月（11/23～12/23）を「ちば県民活動PR月間」とし、県民にNPO・ボランティア活動を知ってもらい、活動への参加に繋がるようなイベントを行う市町村や市民活動団体へ広報支援を行う。	ちば県民活動PR月間賛同行事 20件
6	出前説明会等の実施 〔県民生活・文化課〕	NPOやボランティアの基礎知識、県の施策状況などについての説明会を県内各地に赴き、実施する。	開催回数：6回
7	法人化説明会の実施 〔県民生活・文化課〕	NPO法人格の取得を検討している方を対象に、NPO法人制度や設立手続についての説明会を千葉市と共催で月1回開催する。また、うち4回は夜間に開催する。	開催回数：12回
8	若い世代の参加促進を図る広報啓発と防犯ボランティア事業〔警察本部生活安全総務課〕	自主防犯活動に意欲のある若い世代（県内の大学等に在籍、又は県内に在住、若しくは在勤する16歳以上30歳未満）により若手防犯ボランティアグループ「ブルー・スターズ」を結成し、自主防犯活動への参加・取組による若年層の防犯意識や規範意識の向上を図るほか、地域における絆の強化を図る。また、若年層等による自主防犯活動の一層の活性化のための広報啓発を実施する。	若い世代の防犯意識や規範意識の向上を図ります。
9	自主防犯ボランティア団体の普及及び協働・支援事業 〔警察本部生活安全総務課〕	県内で活動する自主防犯ボランティア団体に対して、地域の防犯情報を提供するほか、警察官との合同パトロールを実施する。その他、自主防犯ボランティアの活動の活性化を図るため、県下各署において、自主防犯パトロール隊や町会等を対象に防犯講話や情報交換会を開催する。さらに、自主防犯ボランティアへの参加促進等を図るため、広報啓発活動を実施する。	防犯講話や情報交換を通じて、自主防犯活動団体に対する支援を推進します。

1 県民活動への理解や参加の促進

進捗状況	現時点での評価
<p>市町村及び市民活動団体に対し、ちば県民活動PR月間賛同行事の募集を実施 実施件数 市町村 18件、市民活動団体 団体 (平成29年10月末現在) 千葉県HPへの掲載や、PRグッズを提供して 広報支援を実施</p>	<p>現時点での実施件数は目標の20件には達していません。今後も市町村や市民活動団体からの賛同行事への応募への広報支援を行い、目標達成に努めます。</p>
<p>開催回数7回 (9月末現在)</p>	<p>年度当初に各市民活動センター宛てに出前説明会の活用について文書を発出、東京2020大会に向けたボランティア講座の設定などを行ったことにより前年度同時期4回を上回り、現時点で目標回数を上回りました。今後も更に多くの講座を開催できるよう広報に努めていきます。</p>
<p>開催回数7回 参加者67人 (平成29年10月末現在) (内訳) 第1回 (4月13日) 4人 第2回 (5月11日) 21人 第3回 (6月8日) 6人 第4回 (7月13日) 5人 第5回 (8月10日) 11人 第6回 (9月14日) 11人 第7回 (10月12日) 9人</p>	<p>月に1度開催しており、目標の達成が見込まれます。今後も、法人格取得を目指す人々の県民活動への理解・参加を促進するために、個別の相談にも随時対応し、法人化説明会等の内容を充実させていくことが必要です。</p>
<p>県内外各地で実施された防犯キャンペーンや研修会に「ブルー・スターズ」の会員が延べ6回43人参加した。また、平成29年9月末までに、新規会員24人が入会した。 【ブルー・スターズ参加のキャンペーン等】 ・女性被害犯罪抑止キャンペーン (千葉市) ・密輸防止キャンペーン (成田市) ・ロックの日防犯キャンペーン (千葉市) ・薬物乱用防止キャンペーン (千葉市) ・警察ふれあいフェスタ (千葉市) ・ブルー・スターズ研修会 (警察本部、第一機動隊)</p>	<p>県内外各地で開催された防犯キャンペーンや研修会に「ブルー・スターズ」の会員が参加したことにより、若年層の防犯意識や規範意識の向上が図られました。今後は、新規会員の更なる増加を目指すとともに、会員による自主的な運営、県内外の他団体との交流を図ることが課題です。</p>
<p>自主防犯ボランティア団体の普及や活動の活性化等を図るため、次の活動を実施した。 ・警察官との合同パトロール 1, 857件 ・防犯講話 4, 430件 ・広報啓発キャンペーン 832件 (いずれも数値は平成29年9月末時点)</p>	<p>合同パトロール、防犯講話等の実施により、自主防犯ボランティア団体の活動の活性化が図られました。自主防犯ボランティア団体を構成する者の高齢化が進んでおり、若い世代の参加促進を図ることが課題です。</p>

1 県民活動への理解や参加の促進

(2) 県民活動を体験する機会の提供

No.	事業名	事業概要	実施目標
10	ボランティア活動への参加促進 〔県民生活・文化課〕	県全体のボランティア活動の推進を図るため、活動体験等を通じた地域のボランティア活動への参加のきっかけづくりを行う事業を実施する。	3事業の実施
11	ボランティアセンター・市民活動支援センター等研修会及び交流会の開催 〔県民生活・文化課〕	県社会福祉協議会等との連携のもと、市町村ボランティアセンターと市町村の市民活動支援センターのスタッフの研修及び情報共有の場として、研修会・交流会を開催する。	開催回数:1回 参加人数:50名
12	地域と連携した福祉教育の推進 〔健康福祉指導課〕	県民の福祉に対する理解と関心を深め、福祉活動への自発的な参加意欲を醸成するため ・小・中・高校を対象に福祉教育推進校を指定 ・福祉教育研究県大会及び福祉教育推進員養成研修を実施する。	・新たな推進校の指定 ・福祉教育研究県大会の開催 ・福祉教育推進員養成研修の実施
13	ボランティア活動の振興（ボランティア振興事業） 〔健康福祉指導課〕	ボランティア等の民間福祉活動の育成発展を図るため、各種ボランティア研修事業等を行う千葉県ボランティア・市民活動センターの運営や研修事業を補助する。	・千葉県ボランティア市民活動センターの運営事業補助 ・研修事業補助（ボランティア・市民活動コーディネーター研修、リーダー研修、新たな担い手育成セミナー）

進捗状況	現時点での評価
<p>企画提案による業務委託で実施。 応募団体3団体 採択団体2団体 ①（特非）生涯学習応援団ちば 「2020ちばおもてなし隊チャレンジステージ～ 参画と繋がり～」 ②プロジェクト結 「みんなで行うおもてなし」</p>	<p>実施目標の3事業の採択とは至りませんでした。ボランティアの裾野の拡大に向けて、当事業のさらなる広報が必要です。 そのため、採択された2事業と、広報支援をはじめとして協働して取り組むことで、採択事業のより効果的な展開はもとより、当事業そのもののPRを併せて行うことが重要と考えます。</p>
<p>市町村ボランティアセンター・市町村市民活動支援センター合同研修会及び交流会開催予定</p>	<p>評価については、実施後に記載予定</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度指定校 小学校10校、中学校6校、高等学校6校 ・福祉教育研究県大会 8/18開催 参加者222名 ・福祉教育推進員養成研修 実施日 4/19, 7/27, 8/3, 8/18, 8/23 修了者 36名 	<ul style="list-style-type: none"> ①新たな推進校の指定 ②福祉教育研究県大会の開催 ③福祉教育推進員養成研修の実施 <p>について、目標を達成することができた。</p>
<p>ボランティアリーダー研修 実施日 7/25 参加人数37名</p>	<p>研修事業について、未実施の研修もあることから、今後の着実な実施が期待される。</p>

1 県民活動への理解や参加の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
14	高校生のためのボランティア体験講座 〔さわやかちば県民プラザ〕	ボランティア活動に関心のある千葉県内の高等学校に在学している者を対象に様々な分野のボランティアについての講義と演習を実施する。	開催日数6日間, 実習7時間以上, 参加数50名
15	ボランティア入門講座 〔さわやかちば県民プラザ〕	ボランティアを始めたいと思っている方や興味のある方を対象に、ボランティアの基本や身近にできるボランティアについて学ぶ講座を開催する。	開催回数1回 参加 数30名
16	ボランティア実践講座 〔さわやかちば県民プラザ〕	ボランティアの具体的な実践を学び合うことにより、ボランティア活動を効果的に進める実践力を向上させる講座を開催する。	開催回数1回 参加 数30名
17	ボランティアスキルアップ講座 〔さわやかちば県民プラザ〕	ボランティア活動者及び、ボランティア活動に関心のある方を対象に、ボランティア活動に不可欠なコミュニケーション力向上とネットワークづくりを図る講座を開催する。	開催回数1回 参加 数30名

進捗状況	現時点での評価
①6/17「ボランティアの心構え」 参加者：32名 ②6/24「福祉ボランティア」 参加者：35名 ③7/16「知的障害のある方との交流、認知症について」 参加者：30名 ④7/27「共生について学ぶ」 参加者：29名 ⑤9/16「オリンピックパラリンピックのボランティア活動について」 参加者：14名	多様な分野のボランティア活動を学ぶことに加えて、多くの体験活動や夏季休業中のボランティア活動を取り入れたことで、より実感を伴った講座となった。37名の応募があり、参加者は、自分の将来に対して見つめ直したり、ボランティアへの意欲を向上させたりすることができた。 (満足度：「良い」「ほぼ良い」で100%)
6/24 午前：ボランティア活動の基本を考える 午後：福祉車両・車いす体験・障害者体験 会場：さわやかちば県民プラザ 参加者：12名	ボランティアを始めようという方や興味を持っている人を対象とした講義内容と体験活動としたことで、ボランティアの基本的な考え方や原則を理解することができた。 (満足度：「良い」「ほぼ良い」で100%)
9/10 午前：子どもの体験活動の必要性について 午後：プログラムの企画立案について、プログラム運営上の留意点について 会場：さわやかちば県民プラザ 参加者：21名	「子どもの体験活動」に関わっている方及び興味がある方を対象としたことで、講座の趣旨が明確になり意欲的な参加に繋げることができた。また、各自の実践発表をもとに、改善点等を話し合う時間を多く設定したことで受講者にとって今後の活動に役立つ内容となった。 (満足度：「良い」「ほぼ良い」で100%)
3/4に実施予定	評価については、実施後に記載予定

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

行政、中間支援組織、市民活動団体、地縁団体、社会福祉協議会、学校、企業など多様な主体が連携・協働して行う地域の課題解決に向けた取組や仕組みづくりへの支援や、県行政と市町村行政の間の情報共有などによる協働の推進を図ります。

(1) 地域コミュニティにおける様々な主体の連携・協働の推進

No.	事業名	事業概要	実施目標
18	協働によるコミュニティづくりの普及・促進 〔県民生活・文化課〕	過去に県が支援した協働による取組が行われていない地域等を対象に、市町村と地縁団体、市民活動団体、企業等が、協働による取組を検討する契機となるよう、有識者による講演や優良事例の共有等を行う。また、各地で活動を行っている主体が、地域を超えた連携・協働につながる契機となるような交流会を実施する。	それぞれ県内3地域で実施

【成果指標】

目標項目	現 状 (26年度)	上段：目標（27・28年度中間目標） 下段：結果（カッコ内は前年度比）		
		27年度	28年度	29年度
地域の様々な主体と連携している市民活動団体の割合	68.2% ^{※1}	70.5%	72.8%	75.0%
		66.7% (-1.5p)	69.3% (+2.6p)	
市町村行政・県行政と市民活動団体との協働事業の件数	469件 ^{※2}	513件	557件	600件
		502件 (+33件)	580件 (+78件)	

※1 千葉県NPO法人実態調査結果より

※2 千葉県NPO・ボランティア関連事業一覧、県内市町村NPO・ボランティア関連事業一覧より
(千葉市は独自集計のため、件数に含まれていません。)

進捗状況	現時点での評価
<p>【予定】</p> <p>(1) 研修会の実施</p> <p>① 海匝地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域活動を魅力的にするヒント」 (12/2、匝瑳市役所野栄総合支所) <p>② 印旛地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「寄附による地域資源の循環」 (12/7、富里中央公民館) <p>(2) 交流会の実施</p> <p>① 印旛地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ソーシャルビジネスの視点からのまちづくり」 (1/13、印西市民活動支援センター) <p>② 東葛地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「働く世代の、これからの「地域」との関わり方」 (2/18、鎌ヶ谷市まなびいプラザ) 	<p>現在、研修会、交流会ともに2回の開催に向け、準備を進めています。当事業は市町村からの開催希望も多いことから、今年度のより多くの実施に向け、調整を図ります。</p> <p>また、昨年度は企業や大学など、様々な主体との連携に着目して開催しており、その成果を活かした展開が重要と考えています。</p> <p>それらを踏まえつつ、各地域の状況に応じた内容となるよう、市町村や関係団体等と連携しながら実施していきます。</p>

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
19	ちばコラボ大賞 〔県民生活・文化課〕	市民活動団体が地縁団体、社会福祉協議会、学校・大学、企業、行政機関等と連携して、それぞれの特性を活かしながら地域社会の課題解決に取り組んでいる事例の中から、他のモデルとなるような優れた事例に取り組んでいる団体を表彰し、広く県民に周知することにより、連携による地域づくりの促進を図る。	応募件数 15件以上 (平成28年度8件) 表彰事例 3事例 (平成28年度3事例)
20	千葉県男女共同参画センターフェスティバル&ネットワーク会議 〔男女共同参画センター〕	本県の男女共同参画社会づくりに向けた機運を高めるため、県民に男女共同参画への理解を深めていただくとともに、男女共同参画に取り組む民間団体と県民の交流の場を提供する「センターフェスティバル&ネットワーク会議」を開催する。 ・企画運営委員会（ボランティア）の設置 ・ワークショップ、ネットワーク会議の開催	開催回数1回
21	地域福祉フォーラムの設置・活動の促進 〔健康福祉指導課〕	地域住民が、社会福祉協議会や民生委員・児童委員、NPO等地域福祉の担い手、更には福祉以外の各分野の人たちと協働して、地域における福祉等のあり方・取組みを考えていく組織である地域福祉フォーラムの設置を促進する。	新規設置数 小域 20箇所 基本 3箇所
22	防犯ボックスを核とした地域防犯力・コミュニティ力向上事業 〔くらし安全推進課〕	防犯ボックスのさらなる普及に向け、住民に最も身近な市町村が主体となり設置する防犯ボックスの初期費用や運営費について助成する。また、県が平成27年度までに設置した千葉市、市川市、柏市、船橋市の計4箇所の防犯ボックスについては、引き続き県が運営する。	3市町村に助成を実施
23	環境講座開催事業 〔環境研究センター〕	環境学習に関する専門的な知識とノウハウを持ったNPO等を公募し、環境講座を実施する。	開催回数12回

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

進捗状況	現時点での評価
<p>【結果】 6/2～8/2 事例の募集（応募13件） 10/20 外部委員による審査会（表彰事例3件） 【予定】 表彰式及び事例発表会（表彰事例3件） 日時：12/25 午後1時30分～午後4時 会場：ホテルプラザ菜の花</p>	<p>応募件数については目標には至らなかったものの、例年より多い13件の応募の中、3事例を選考したところです。 表彰式においては事例発表会も同時開催するとともに、様々な機会をとらえて表彰事例を紹介していきます。</p>
<p>センターフェスティバル&ネットワーク会議を開催予定</p>	<p>評価については、実施後に記載予定</p>
<p>(平成29年9月30日現在) 小域福祉フォーラム設置数 323箇所(1箇所増加) 基本福祉フォーラム設置数 30箇所(2箇所増加)</p>	<p>基本福祉フォーラム 達成率66%(2箇所/3箇所) 小域福祉フォーラム 達成率5%(1箇所/20箇所) ともに達成していない状況である。目標を達成するために、地域福祉活動計画の研修など様々な機会をとらえて、関係者に周知を図っていく。</p>
<p>4/3補助金交付決定（松戸市） 8/29補助金交付決定（茂原市）</p>	<p>今後、君津市に補助金交付決定予定。 10/20 松戸市が運営開始予定。</p>
<p>【結果】 体験活動2回(7/9、8/23)、施設見学3回(7/24、7/28、9/12)、自然環境学習1回(8/4)、指導者養成講座1回(9/20)を開催し、これまでに計201名が参加した。 【予定】 体験活動3回(10/9、10/12、1/7)、講演会3回(10/27、11/18、12/2)、指導者養成講座2回(11/12、11/25)の開催を予定している。</p>	<p>環境講座の開催については、目標を達成する見込みです。</p>

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
24	ちば中小企業元気づくり基金事業 地域プロデュース支援事業 〔経済政策課〕	中小企業者をはじめ、地域住民、NPOや商工団体等が連携して取り組む、地域ブランドのシーズ発掘、商品化の道を探るなどの企画業務、地域資源を活用した企画の実践やイベント実施、空き店舗活用事業などに対して助成する。	地域プロデュース事業助成 1件 地域活性化事業助成 7件
25	法人の森事業（法人の森協定） 〔森林課〕	社会貢献や環境活動を希望する企業や団体に対し、県有林の一部を「法人の森」として提供することで、CSR活動としての森林整備活動・森林環境教育活動をサポートする。	事業PR（ホームページ他） 協定締結 2件
26	里山活動の支援 〔森林課〕	景観維持や県土保全等の里山の持つ多面的機能を持続的に発揮するため、地域住民や企業、里山活動団体等の多様な人々の参画による森林整備活動が促進されるよう支援を行う。	里山活動団体や企業が整備・保全する森林面積を増やす。
27 再掲	若い世代の参加促進を図る広報啓発と防犯ボランティア事業〔警察本部生活安全総務課〕	自主防犯活動に意欲のある若い世代（県内の大学等に在籍、又は県内に在住、若しくは在勤する16歳以上30歳未満）により若手防犯ボランティアグループ「ブルー・スターズ」を結成し、自主防犯活動への参加・取組による若年層の防犯意識や規範意識の向上を図るほか、地域における絆の強化を図る。また、若年層等による自主防犯活動の一層の活性化のための広報啓発を実施する。	若い世代の防犯意識や規範意識の向上を図ります。

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

進捗状況	現時点での評価
<p>地域プロデュース事業助成 1件 地域活性化事業助成 6件</p>	<p>地域プロデュース事業は目標を達成しています。 地域活性化事業については目標を上回る応募がありましたが、結果として採択件数が目標を下回っています。</p>
<p>エコmesse出展や県ホームページによる事業のPRを行っている</p>	<p>引続き事業PRに努めてまいります</p>
<p>多様な主体による森林整備活動への参画や協働を支援するための総合窓口を設置（NPO法人に業務委託）し、各種相談対応等を行っている</p>	<p>引続き多様な主体による森林整備活動への参画や協働を支援するための総合窓口の運営に協力し、事業の効果的な推進に努めてまいります</p>
<p>県内外各地で実施された防犯キャンペーンや研修会に「ブルー・スターズ」の会員が延べ6回43人参加した。また、平成29年9月末までに、新規会員24人が入会した。 【ブルー・スターズ参加のキャンペーン等】 ・女性被害犯罪抑止キャンペーン（千葉市） ・密輸防止キャンペーン（成田市） ・ロックの日防犯キャンペーン（千葉市） ・薬物乱用防止キャンペーン（千葉市） ・警察ふれあいフェスタ（千葉市） ・ブルー・スターズ研修会（警察本部、第一機動隊）</p>	<p>県内外各地で開催された防犯キャンペーンや研修会に「ブルー・スターズ」の会員が参加したことにより、若年層の防犯意識や規範意識の向上が図られた。今後は、新規会員の更なる増加を目指すとともに、会員による自主的な運営、県内外の他団体との交流を図ることが課題である。</p>

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
28 再掲	自主防犯ボランティア団体の普及及び協働・支援事業 〔警察本部生活安全総務課〕	県内で活動する自主防犯ボランティア団体に対して、地域の防犯情報を提供するほか、警察官との合同パトロールを実施する。その他、自主防犯ボランティアの活動の活性化を図るため、県下各署において、自主防犯パトロール隊や町会等を対象に防犯講話や情報交換会を開催する。さらに、自主防犯ボランティアへの参加促進等を図るため、広報啓発活動を実施する。	防犯講話や情報交換を通じて、自主防犯活動団体に対する支援を推進します。
29	千葉県警察学生サポーター「Ch i P S S」活動 〔警察本部少年課〕	非行少年を生まない社会づくりの推進事業の一環として、少年の非行問題に関心があり、熱意と行動力を有する大学生を千葉県警察学生サポーターに委嘱（募集人員40人）し、警察、学校、地域と協働して、学習・スポーツ支援、居場所づくり等の立ち直り支援、街頭補導等の非行防止活動や健全育成活動を実施する。	少年の非行防止や健全育成活動を推進します。
30	少年補導員・少年指導員活動 〔警察本部少年課〕	少年の非行防止及び健全育成を図るため、少年警察ボランティアを委嘱し、地域住民と協働した街頭補導活動や環境浄化活動等を推進する。	街頭補導活動や環境浄化活動等を推進します。

(2) 地域コミュニティの活性化を支える連携を担う人材づくり

No.	事業名	事業概要	実施目標
31	災害時外国人サポーター養成講座 〔国際課〕	災害時における外国人支援として、外国語通訳や避難所での対応の仕方など外国人支援を行うサポーター養成講座を開催する。	開催回数2回
32	通訳ボランティア養成事業 〔国際課〕	2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を契機として、国際理解・交流の促進、外国人が安心して生活できる多文化共生社会づくりを推進し、多言語によるコミュニケーション支援体制を整備するため、通訳ボランティア養成研修を実施する。	6講座

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

進捗状況	現時点での評価
<p>自主防犯ボランティア団体の普及や活動の活性化等を図るため、次の活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察官との合同パトロール 1, 857件 ・防犯講話 4, 430件 ・広報啓発キャンペーン 832件 <p>(いずれも数値は平成29年9月末)</p>	<p>合同パトロール、防犯講話等の実施により、自主防犯ボランティア団体の活動の活性化が図られた。自主防犯ボランティア団体を構成する者の高齢化が進んでおり。若い世代の参加促進を図ることが課題である。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「ChiPSS」委嘱状況 38人 (「ChiPSS」活動状況 84回、164人) ・街頭補導活動 38回、64人 ・広報啓発活動 17回、27人 ・スポーツ・学習支援活動等 6回、6人 ・その他(研修等) 23回、67人 	<p>各種活動を通じて、少年の非行防止や健全育成活動を推進している。 熱意・行動力のある大学生の新規獲得・委嘱に努める。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・少年補導員(兼少年指導委員) 529人 ・少年指導委員(少年補導員と兼務。単独委嘱は67人) 596人 ・少年補導員、少年指導委員の活動状況 延べ820回 ・街頭補導活動 486回 ・広報啓発活動(キャンペーン) 93回 ・環境浄化活動 3回 ・その他 238回 	<p>各種活動を通じて、街頭補導活動や環境浄化活動等を推進します。 熱意・行動力のあるボランティアの新規獲得・委嘱に努めます。</p>

進捗状況	現時点での評価
<p>【予定】災害時外国人サポーター養成講座 第1回(11/18) 第2回(11/25)</p>	<p>評価については、実施後に記載予定</p>
<p>委託先：(公財)ちば国際コンベンションビューロー</p> <p>【結果】通訳ボランティア養成講座(前期) A会場(佐倉市。7/13、7/20、7/27)受講決定者：英語36名 B会場(木更津市。8/16、8/23、8/30)受講決定者：英語41名 C会場(千葉市。9/23、9/30、10/7)受講決定者：英語26名、中国語10名</p> <p>【予定】通訳ボランティア養成講座(後期) D会場(千葉市。11/11、11/18、11/25)募集定員：英語20名、韓国語10名 E会場(千葉市。12/9、12/16、12/23)募集定員：英語30名 F会場(松戸市。1/24、1/31、2/7)募集定員：英語35名</p>	<p>養成した方々に活動の機会を提供していく必要があります。</p>

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
33	災害対策コーディネーターの養成 〔防災政策課〕	地域の防災活動や災害時の支援活動において中心的な役割を担う「災害対策コーディネーター」など、地域の防災リーダーを養成する市町村の取組について、「千葉県地域防災力向上総合支援補助金」の活用等により支援する。	災害対策コーディネーターの増加
34	災害対策コーディネータースキルアップ講座 〔防災政策課〕	災害対策コーディネーターが、広域的な連携・協力関係を築き、より実践的な防災知識を習得するため、災害対策コーディネータースキルアップ講座を開催する。	開催回数 1回
35	コミュニティソーシャルワーカー（CSW）育成事業 〔健康福祉指導課〕	地域福祉活動を担う方を対象とする「基礎研修」、社会福祉等に係る個別支援又は相談支援を担う方を対象とする「専門研修」、専門研修の修了者を対象とする「フォローアップ研修」を実施し、地域において活躍する人材の育成・スキルアップを図る。	1 基礎研修 定員150名以上 ※ 複数回の開催の場合は合計 2 専門研修 定員30名以上 ※ 複数回の開催の場合は合計 3 フォローアップ研修 定員20名以上 ※ 複数回の開催の場合は合計
36	千葉県生涯大学校における地域を担う人材の育成 〔高齢者福祉課〕	高齢者が地域の様々な問題解決に向け、専門性を身につけ、地域活動の担い手として活躍することができる人材を養成する。	入学者数の増加
37	食生活改善推進員研修事業 〔健康づくり支援課〕	各市町村で活動している食生活改善推進員に対し、活動の意義と技術について教育研修を行い、資質の向上を図る。	開催回数20回 参加人数600名
38	がん検診推進員育成講習会事業 〔健康づくり支援課〕	各市町村の母子保健推進員、健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等に対し講習会を行い、がん検診推進員として育成し、これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより受診率の向上を目指す。	年6回の講習会を開催し、がん検診推進員の増員を図る。

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

進捗状況	現時点での評価
災害対策コーディネーター養成講座を開催予定	評価については、実施後に記載予定
災害対策コーディネータースキルアップ講座を開催予定	評価については、実施後に記載予定
<p>(平成29年9月30日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎研修受講者数 37名 (実施数1回/実施予定数6回) ・専門研修受講者数 69名 (実施数1日/実施予定数5日間) ・フォローアップ研修受講者数 未定 (実施数0回/実施予定数1回) 	<p>基礎研修 達成率24% (37名/150名) 専門研修 達成率230% (69名/30名) フォローアップ研修 達成率0% (0名/20名) 専門研修以外は現状達成していませんが、引き続き関係機関への周知を図っていきます。</p>
入学者数 1,239名 (平成28年4月1日現在)	昨年度(平成27年4月1日現在)と比較して、入学者数が138名増加しました。今後も、学生ニーズ等を踏まえて、カリキュラムの見直しを図るとともに、効果的な広報等を検討していきます。
<p>開催予定：17回 参加人数予定：814名 平成29年9月末現在、2回実施完了。</p>	評価については、実施後に記載予定
県内6ブロックで講習会を実施予定。	評価については、実施後に記載予定

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
39	精神保健福祉ボランティア育成事業 〔障害福祉課〕	現在活動中の精神保健福祉ボランティア及び心の保健医療通訳ボランティアを対象に、フォローアップ講座や研修会を開催する。（精神保健福祉センターにおいて実施）	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉ボランティアフォローアップ講座講座(2日)の開催 ・心の保健医療通訳ボランティア講座講座(2日)の開催
40	外国語観光ボランティアガイド養成講座開催事業 〔観光企画課〕	外国人観光客が訪れる観光地において、外国語による観光ガイドを務めて頂けるよう、説明方法などの実践的な養成講座を開催する。	魅力的な観光地づくりの担い手となる人材の育成
41	ちば食育ボランティアの活動支援 〔安全農業推進課〕	ちば食育ボランティアに対する初歩研修とスキルアップ研修を行うとともに、県内各地の優良な食育活動の事例を広く収集し、事例集としてまとめて配布する。 (ちば食育ボランティア登録者数4,483名※平成27年10月末現在)	<ul style="list-style-type: none"> ・ちば食育ボランティア研修会 県内2箇所で開催。参加数 50名×2回。 ・食育活動事例集の作成
42	地域とともに歩む学校づくり推進支援事業 〔生涯学習課〕	学校と地域が連携して、地域コミュニティを構築し、地域の子供たちを地域で育てていくため、学習支援や環境整備、登下校時の見守りなど、学校を支援する体制づくりを推進する。そのため、コーディネーターや教育活動サポーターを養成する研修会を開催する。	<p>地域とともに歩む学校づくり推進支援事業の本部の実施箇所数を平成28年度より増やす。</p> <p>※H28実績：16市町133本部（小学校145校、中学校52校、特別支援学校1校、義務教育学校1校）</p>

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

進捗状況	現時点での評価
<p>・精神保健福祉ボランティアフォローアップ講座 【予定】12月以降開催予定。</p>	<p>・精神保健福祉ボランティアフォローアップ講座については、開催内容が概ね確定し、詳細を検討中です。</p>
<p>【予定】 日程：11/21、12/1、12/6 会場：県内3箇所（北総、南房総・九十九里、ベイ・東葛飾） 対象：・過去に開催した当該講座を受講し、受講修了者登録届を提出しており、観光ボランティアガイドをしようと考えている方 ・県内観光ボランティアガイド団体に所属している方 講座内容： 1. 講義&ワークショップ ・ガイド技能の習得（外国人観光客に対するNGワード等） ・外国語によるナレーション作成 2. ガイド実演研修 ・ボランティアガイド団体による観光ガイド ・講師のワンポイントアドバイス</p>	<p>県内3箇所です1回当たり、定員30名程度で募集を開始する予定。</p>
<p>ちば食育ボランティア研修会について ・8/25、千葉市内で開催 ・11/6、千葉市内で開催予定</p>	<p>評価については、実施後に記載予定</p>
<p>16市町143本部（小学校154校、中学校57校、特別支援学校1校、義務教育学校2校）で実施</p>	<p>学校支援地域本部数については、H28実績より10本部増加しており、目標を達成する見込みです。</p>

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

No.	事業名	事業概要	実施目標
43	放課後子供教室推進事業 〔生涯学習課〕	すべての子供を対象として、放課後や土曜日等に小学校の余裕教室等を活用し、安全に配慮しながら地域住民の参画を得て、交流活動等に取り組むなど、心豊かで健やかな子供の育成を目指す。そのため、コーディネーターや教育活動サポーターを養成する研修会を開催する。	放課後子供教室対象学校数を平成28年度より増やす。 ※H28実績：29市町229校を対象に実施
44	「読み聞かせボランティア入門講座」の開催 〔中央図書館〕	絵本の読み聞かせについての講演及び参加者による実演と講師のアドバイス等を行い、読書の重要性や本の選び方や読み聞かせの方法など、実践に役立つスキルを学ぶ。	開催回数2回 参加数80名

(3) 市民活動団体等と県行政・市町村行政の協働の推進

No.	事業名	事業概要	実施目標
45	市町村と市民活動団体との連携促進事業 〔県民生活・文化課〕	各市町村の協働に関する取組や市民活動支援センターの機能強化を支援するとともに必要に応じ専門家の派遣等を行う。	派遣回数10回
46	学校と市民活動団体との連携促進事業 〔県民生活・文化課〕	地域の民間教育力を活用した地域協働の活性化を図るため、教職員向けの講座を実施することにより、NPOと学校が連携するための環境づくりを促進する。	開催回数 3回
47	県・市町村推進会議の開催 〔県民生活・文化課〕	効果的なNPO・ボランティア施策形成に向けて、県と市町村とが情報交換・意見交換等を行う推進会議等を開催し、県と市町村との一層の連携と協力を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村市民活動調査の実施 ・担当課長会議：1回開催 ・推進会議：1回開催

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

進捗状況	現時点での評価
31市町234校を対象に実施	放課後子供教室対象学校数については、H28実績より5校増加しており、目標を達成する見込みです。
11/27、1/25に実施予定	評価については、実施後に記載予定

進捗状況	現時点での評価
<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の協働に関する取組状況を取りまとめ、各市町村に提供 ・専門家の派遣 1回（茂原市） 	市町村に対する専門家の派遣実績がまだ1回で、目標達成には遠い状況なので、今後も引き続き制度の利用を呼び掛けていきます。
公立学校等新任教務主任研修及び県立学校等企画・運営リーダー育成研修 「NPO活動と学校との連携」 9/22、総合教育センター、参加者：104名 講師：市野敬介氏（特非企業教育研究会事務局長）	教育庁が開催する講座と連携して事業を実施しているところ、例年3回の開催が今年度は2回だったため、目標の開催回数を下回りました。しかし、参加者の86%がNPOへの理解が深まったと回答しており、講座の目的は達成できたと考えます。
市町村市民活動担当課長会議 日時：4/25 会場：きぼーる 参加者：42市町村52名、 県民活動推進施策説明、講演「三島市の市民主体のまちづくり」等	今年度は、県外の協働の優良事例を紹介しました。今後は、より多くの市町村の参加を促すような企画内容の検討が必要です。

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

49	パートナーシップ推進 員会議の開催 【県民生活・文化課】	県庁内における市民活動団体及び市民活動推進施策に対する理解を促進し、協働の体制を強化するため、県行政の関係課職員をパートナーシップ推進員として指定し、推進員会議を通じて理解促進や情報共有を行う。	開催回数2回
----	------------------------------------	---	--------

2 地域の様々な主体と市民活動団体等の連携・協働の促進

<p>【予定】 11/14 会場：千葉県文書館 ①次期県民活動推進計画（平成30～32年度） ②パートナーシップマニュアル ③東京2020大会に向けたボランティア推進方針 ④講演 「行政とNPO・地縁団体との協働に求められる『視点』とは？」 講師：牧野昌子氏（認定特非ちば市民活動・市民事業サポートクラブ代表理事）</p>	<p>開催予定がまだ1回であり、パートナーシップ推進員が協働に関する理解を深められる、さらなる場づくりが必要です。</p>
---	---

3 市民活動団体等の基盤強化等の支援

市民活動団体等の抱える人材面、資金面の課題に対して適切な支援を行うことのできる中間支援組織の支援や民が民を支える仕組みの普及を通じて、団体が持続的に活動できる環境整備に向けた基盤強化等を図ります。

(1) 市民活動団体等の組織運営力等の向上支援

No.	事業名	事業概要	実施目標
50	市民活動マネジメント事業 〔県民生活・文化課〕	市民活動団体が安定的・継続的に活動していくために必要な運営能力の向上を図るため、市町村と共催で市民活動団体マネジメント講座を実施する。講座は活動経験の浅い団体向けの基礎編と、ある程度活動経験を積んだ団体向けの応用編を開催し、マネジメント能力の向上を促進する。	①基礎編 開催回数4回 ②応用編 開催回数2回

(2) 中間支援組織の機能強化支援

No.	事業名	事業概要	実施目標
51	ボランティアセンター・市民活動支援センター等研修会及び交流会の開催 〔県民生活・文化課〕	県社会福祉協議会等との連携のもと、市町村ボランティアセンターと市町村の市民活動支援センターのスタッフの研修及び情報共有の場として、研修会・交流会を開催する。	開催回数：1回 参加人数：50名

【成果指標】

目標項目	現 状 (26年度)	上段：目標（27・28年度中間目標） 下段：結果（カッコ内は前年度比）		
		27年度	28年度	29年度
市民活動団体の活動へ参加 (活動・寄付・支援) している人の割合	23.4%※1	24.8%	26.2%	27.5%
		33.0% (+9.6p)	31.0% (-2.0p)	
寄付を受けたことがあるNPO法人の割合	58.2%※2	60.5%	62.8%	65.0%
		55.4% (-2.8p)	50.3% (-5.1p)	

※1 第48回県政に関する世論調査結果より

※2 千葉県NPO法人実態調査結果より

進捗状況	現時点での評価
<p>【結果】 (1)第1回 10/14、会場:きぼーる 参加者:37名 内容「休眠預金活用と社会的インパクト評価の最新動向について」 講師:鴨崎貴泰氏(認定特非・日本ファンドレイジング協会事務局長)</p> <p>【予定】 (1)第2回及び第3回(連続) 11/1、11/29、会場:きぼーる 内容「成果を出す事業のつくり方講座Ⅰ・Ⅱ」 講師:長浜洋二氏(株PubliCo代表取締役)</p> <p>(2)第4回 1/23、会場:パレット柏 内容「ホームページ・ブログ・SNS講座」 講師:菅文彦氏(合同会社コース・アクション代表)</p> <p>(3)第5回 2/15、会場:パレット柏 内容「事業報告書作成のための講座」 講師:早坂毅氏(早坂毅税理士事務所代表)</p>	<p>今年度新たな試みとして中間支援団体に委託して実施したところ、開催回数は5回となり、目標を下回りました。 しかし、それら5回の研修は県内の市民活動団体が、現在、また今後において必要とすることを学ぶために計画されているところです。 そのため、当事業が、より多くの市民活動団体にとって学びの機会となるよう、積極的な広報が必要です。</p>

進捗状況	現時点での評価
<p>市町村ボランティアセンター・市町村市民活動支援センター合同研修会及び交流会開催予定</p>	<p>評価については、実施後に記載予定</p>

3 市民活動団体等の基盤強化等の支援

No.	事業名	事業概要	実施目標
52	市民活動支援組織ネットワークによる中間支援組織の機能向上と連携強化 〔県民生活・文化課〕	市民活動支援組織の機能向上及び連携強化のため、県内の主要な市民活動支援組織の関係者を構成員とする千葉県市民活動支援組織ネットワークを運営し、支援組織に必要とされるノウハウや知識を習得するための研修を実施する。	ネットワーク会議等の開催回数 4回

(3) 民が民を支える仕組みの普及・支援

No.	事業名	事業概要	実施目標
53	民が民を支える仕組みの普及・支援 〔県民生活・文化課〕	「民が民を支える仕組み構築モデル事業」(H23～24)において構築された仕組みについては、県が実施するイベントや県ホームページ等において周知・PRするほか、運営主体との情報交換や意見交換を行うなど、協力することで、仕組みの活用促進を図る。	運営主体との情報交換の場を設ける

進捗状況	現時点での評価
<p>【結果】</p> <p>(1) 千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議 第1回 7/4 午後1時30分～午後4時30分 会場: 千葉市ビジネス支援センター 参加者57名 「”地域をつなげ、活力を引き出す”手法と着眼点」</p> <p>(2) 同 作業部会 「入門」、「協働」、「法人化&運営」、「広報」、「ファンドレイジング」の各Q&A作成に向けた作業部会 第1回 8/31 第2回 10/13、10/20</p> <p>(3) 同 幹事会 第1回 6/5 第2回 8/31</p> <p>【予定】</p> <p>(1) 千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議 第2回 11/30</p> <p>(2) 同 作業部会 第3回 1/30</p> <p>(3) 同 幹事会 第3回 3月</p>	<p>作業部会等を併せ、積極的な場づくりに努めています。</p> <p>第1回ネットワーク会議は、若手行政職員とベテランの中間支援スタッフの意見交換の機会となるなど、当ネットワークの連携強化に資する会となりました。また、新たな試みとして中間支援に携わる上で必要となる「Q&A」をつくるための「作業部会」を開催しています。</p> <p>部会は人数を絞って実施しており、作成を通じて、参加者の実践に基づく意見交換が密になされ、県内の中間支援の経験知の結集の場となっているところです。中間支援組織は、県民活動を推進する要のひとつであるため、今後も幹事会のメンバーと協力しながら、効果的に事業を展開します。</p>

進捗状況	現時点での評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県ホームページにおいて関係資料及びイベント情報を掲載 ・ 県民活動情報オフィスにてイベント告知チラシを提供したり、県メルマガに掲載するなどの広報支援を実施 	<p>県ホームページ、県民活動情報オフィスでの情報提供やメルマガの配信などを実施しました。今後も、周知・PRを継続することで仕組みの活用促進を図ります。</p>